



7 2023

発行所 大阪府中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jiho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 2023年度 小教区・プロック司牧担当者など一覧
☆ 泉北教会創立50周年記念 ラジオ「信仰の時間」 佐藤永神父
☆ イエスにならう生き方を求めて
☆ 開きたい、神と出会う時
☆ カテキズムの学び
☆ 2022年度教区会計報告
☆ 広報委員会へのEメールアドレス: jiho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。



変わりゆく葬儀

コロナ禍で家族葬が増加

葬儀の歴史

ある信徒が「自分が洗礼を受けたのは、葬儀を考えた時にどの宗教がよいかと自問し、最終的にカトリックが浮かんできたから」と動機を明かした。葬儀はカトリックにおいても重要な営みである。その葬儀がコロナ禍を経験する中で変化してきているという。編集部では、関係者の話をもとに変わりゆく葬儀のあり方を取材した。

葬儀は人の死を受け止める作業である。その死を受け止める、悲嘆の表出作業（グリーフケア）の機能でありプロセスである。葬儀の歴史は古く、北イラクのシャニダール遺跡から発見されたネアンデルタール人の墓地に埋葬された人骨の周囲から花粉が発見され、死者を埋葬するにあたり花を供していた痕跡だと考えられている。

日本においては、「古事記」に当時の葬儀の様子が記されている。人が死んでもすぐに埋葬せず、長い期間（場合によっては白骨化するまで）死者に食事を供して、歌い踊って鎮魂していた。

江戸時代、身分による葬儀の基準が示され、幕府によって庶民の葬儀は簡素化が奨励されていたが、明治時代になり身分制度がなくなると、経済力のある商人たちが大規模な葬送行列を行うようになった。当時は、土葬だったこともあり棺を入れた輿を担いで墓場まで行く、野辺送りが葬儀の中心だった。時に数百人規模で広告宣伝のように市中を練り歩くような派手な行列も現われ、そのような大規模葬列は批判の対象になり、次第に葬列は姿を消すことになった。葬列に代わって、輿を模した祭壇飾りを中心に葬儀を行うようになった。仏式葬儀で見かける白木の葬儀祭壇の原型が生まれたのである。その頃から、家族が



故人との別れを惜しむ通夜、故人を見送る儀式である葬儀、社会的に死を告げる告別式が定着していった。

葬儀は、「いつ訪れるかわからない」「生を奪う」死に対する宗教儀礼であり、故人の家族を取り巻く近隣を中心とした地域共同体（教会では信徒の共同体）が担うようになった。葬儀には会社を休んで参列し、たくさんの方が集まるようになった。

葬儀の形骸化

近代以降、特に高度経済成長期以降に、葬儀が「形骸化」しているという。その要因として①死に対する観念が生涯を終えて迎えるものに変わったこと、②葬儀の「宗教儀礼」という地位が低下し、「社会儀礼」の側面が肥大化したこと、③遺族を支えてきた地域共同体が、都市化、核家族化によって解体したこと、④葬儀が「世間に恥をかかない」ために「ただやらなければならぬこと」化したこと、⑤遺族に悲しむ時間を与えないくらいに生活時間がスピードアップしたことがある。

葬儀の形骸化は、葬儀に変化をもたらした。昼間に

カトリック泉佐野共同納骨所 合同納骨式

5月14日(日)、フラビオ・ベスコ神父の司式で泉佐野共同納骨所の合同納骨式が行われた。泉佐野共同納骨所は大阪教区で6カ所目(大阪府内では2カ所)の共同納骨所となる。初めての合同納骨式はあいにく雨となったが、約20人の遺族が参列し、7名を納骨した。同共同納骨所の開所にあたる準備段階では、泉佐野教会の司祭及び墓地委員の方々に尽力をいただいた。

泉佐野共同納骨所は大阪教区の信徒及びその家族であれば、申込は可能。年2回の合同納骨式となり、次回は11月3日に合同追悼祭と合同納骨式を行う予定。今回の合同納骨式で納骨を希望する場合は、教区本部事務局まで資料請求を行っていただき、8月末までに納骨の事務手続き完了が必要です。大阪教区各共同納骨所の墓参予定は、大阪教区ホームページ「墓地・納骨堂・納骨所」のバナー内の「墓参予定」で確認いただくか、教区本部事務局総務課(管理部門)までお問い合わせください。

大阪教区ホームページ「墓参予定」サイト <https://www.osaka.catholic.jp/cemeteries/requiem.html>

問い合わせ先・資料請求 教区本部事務局総務課(管理部門) 電話: 06-6941-9705



家族葬の普及

「葬儀形骸化」とは、人の死に出会った悲しみを大事にしない事であり、葬儀に集う人びとの中に悲しみへの共感が薄れていることを意味している。そのような「葬儀形骸化」への反省から、死を忌避するのではなくきちんと受け入れようとの動きが生まれ、社会儀礼色を一掃した「ジミ葬」や死後の自己決定権ともいうべき「自分葬」の創出という動きが始まった。一方、「自分

葬儀の形骸化は、葬儀に変化をもたらした。昼間に

カトリックの家族葬

の葬儀は身内だけでひっそりと「考える人が増え、バブル崩壊後の経済不況とも相まって、葬儀の簡素化や個人化が進んだ。この傾向は、リーマンショック以降ますます顕著になり、「直葬」「家族葬」「一日葬」が登場した。そして、社会一般においてもコロナ禍がこの傾向に拍車がかかり、家族葬の需要が高まっており、葬儀社の広告は「家族葬」「一日葬」など「小さな葬儀」がメインになっている。カトリック教会においても、コロナ禍以前から家族葬を取り入れられつつあったが、コロナ禍では、聖堂の密を避けるため入場制限が設けられたこともあり、信者の参列を回避する動きが強まり、一気にその動きが加速したという。



(文 広報委員会 委員長 川柳裕明)

また、知らせを回さなかったことで、「知らされなかった」と教会委員にクレームがつくこともある。そこで最近、訃報連絡を回す際、「家族葬ですので、ご自分の家でお祈りください」といった工夫をする教会も増えてきた。葬儀は時代とともに変化してきた。教会での葬儀も変化してきている。取材を通して、時代の要請に柔軟に対応する必要があると感じられた。

家族葬とは、一般的に家族だけの葬儀で「密葬」と呼ばれることがある。近い親族やごく親しい友人の参列は想定しても、会社関係や広範囲への告知はしない。しかし、「ジミ葬」や「一日葬」になっても、遺族が故人を送る気持ちは変わらない。むしろ、会葬者への対応といったわずらわしさから解放されて、心をこめて祈ることができる。カトリック教会における家族葬も基本変わらない。

教会で葬儀を行う場合(同様に葬儀会館などに出張して行う場合も)司祭だけで行うことは難しい。信徒の典礼奉仕などが不可欠である。そこで問題になるのは、信徒に連絡網などを通して知らせるべきかどうかだ。教会側と遺族の間で認識がズレが生じ、トラブルになるケースもあるという。

2023年春 地区長・委員長・小教区・ブロック司牧担当者一覧

地区長・委員長について

大司教 前田万葉

十主の平和

聖霊降臨の喜びのうちに、教会の歩みも新たに始まり、さまざまな制限が解除されて未来に希望を抱いていることと推察いたします。

さて、今年度の人事異動により、地区長が交代した地区がありますので、お知らせいたします。任期は、2024年5月31日迄となります。また、委員会委員長及び担当者も一部交代しましたので発表いたします。地区長や委員長のもとで、それぞれの活動を充実させ福音宣教に務めていただきますようお願い申し上げます。

※名称変更（ハラスメント対応委員会・使徒職養成委員会）

地区長

和歌山地区	ヘスス・マリア・モラレス	北摂地区	野田 正弘
岸和田地区	イポリト・ヴィダ	阪神地区	和越 敏
大阪南地区	酒井 淳	神戸地区	松永 敦
大阪北地区	長崎 壮	姫路地区	大久保 武

大阪教区事務局・委員会等担当一覧

(任期:2022年6月1日~2024年5月31日)
*2023年7月1日改訂

委員会・窓口・施設長・担当者		責任者		
福音化本部	教区宣教司牧評議会運営委員会	部長	前田 万葉	
	新福音化委員会	担当	大久保 武	
	教区本部事務局	事務局	委員長	ヌノ・デ・リマ
		教区監査チーム担当	局長	崔周永
		サクラ ファミリア	担当	川邨 裕明・山本 英明
		カーザ ファミリア	施設長	松浦 信行
	広報委員会	施設長	春名 昌哉	
	ハラスメント対応委員会(委員会名変更)	委員長	川邨 裕明	
	災害対策委員会	委員長	松浦 信行	
	一粒会委員会	委員長	崔周永	
	新司祭・神学生養成委員会	担当	上田 憲・竹延 真治	
	大阪セミナリオ	委員長	赤波江 豊	
教会福音化部門	典礼委員会	担当	上田 憲	
	列聖推進委員会	部門長	酒井 俊弘	
	使徒職養成委員会	委員長	野田 正弘	
	国内移動者委員会	委員長	春名 昌哉	
	カトリック教育推進委員会	委員長	次期改選まで委員が協力しあう	
	諸宗教対話委員会	委員長	赤窄 富夫	
	エキュメニズム委員会	委員長	高島 政行	
	青少年司牧委員会	委員長	ロッコ・ビビアーノ	
	社会福音化部門	社会活動センターシナピス(社会福音化部門事務局)	委員長	ロッコ・ビビアーノ
		障がい者委員会	委員長	春名 昌哉
		日本カトリック正義と平和協議会	部門長	酒井 俊弘
		カリタスジャパン	センター長	松浦 謙
日本カトリック難民移住移動者委員会		委員長	石井 望	
部落差別人権委員会		担当	松浦 謙	
外国語司牧		担当	松永 敦	
英語		担当	英 隆一朗	
ベトナム語		担当	長崎 壮	
スペイン語		担当	デンニ・ワユディ	
インドネシア語		担当	アマド・カバレロⅢ	
ポルトガル語		担当	グエン・シン・サク	
韓国語	担当	ヘスス・マリア・モラレス		
船員司牧	担当	デンニ・ワユディ		
		担当	イポリト・ヴィダ	
		担当	安旻祐	
		担当	エリック・パウチスタ・デ・グスマン	

2023年度 小教区ブロック司牧人事表(7月1日現在)

※Bはブロックの略

姫路地区	姫路西B	Fr.大久保武は担当 Fr.アンドレ・コレーンは協力 Fr.レネ・バシト・カンデラリアは協力	大阪北地区	梅田B	Fr.松浦信行、Fr.エリック・パウチスタ・デ・グスマンは共同(関目・大阪梅田) Fr.赤波江謙一、Sr.エンシソ・アルダナ・グロリアは協力
	姫路中B	Fr.ジュドネ・トンバ・ディバは主任(姫路・佐用) Fr.ルドビカス・ゴージェンスは主任(仁豊野・生野分教会) Fr.赤波江豊は小教区管理者(豊岡) Fr.赤窄富夫は協力		しろきたB	Fr.長崎壮、Fr.タラン・スン・ニュー・イ、Fr.ユン・サンホは共同(今市・大東・門真) Fr.ハイメ・シスネロスは協力
	姫路東B	Fr.ジャン・カレンガ・カペンデは主任(加古川・西脇分教会)		河北B	Fr.赤波江豊は主任、Sr.高橋由美子は協力(香里) Fr.竹延真治は主任、Fr.梅崎隆一は助任、Fr.フリオ・トーレスは協力(枚方)
神戸地区	神戸西B	Fr.高橋聡、Fr.林和則、Fr.ジェラルド・グイノは共同(北須磨・垂水・洲本・明石) Fr.中川明は協力	大阪南地区	阿倍野B	Fr.山本英明は主任(阿倍野) Fr.酒井 淳は主任(平野・大阪田辺) Fr.中野正勝は協力(平野) Fr.チョン・ディン・ハイは主任(藤井寺)
	神戸中B	Fr.安旻祐(担当:鈴蘭台)、Fr.松永敦(担当:兵庫・たかとり)は共同 Fr.神田裕(担当:三田)は協力		堺B	Fr.高島政行、Fr.春名昌哉、Fr.ジャンマリー・カゼンガは共同(堺・泉北・金剛・橋本) Sr.チャン・ティ・フエは協力、Fr.鄭海成は日本語研修
	神戸東B	Fr.コンスタンシオ・コンサルタ、Fr.金台根、Fr.ブイంగా・ブレイズは共同(神戸中央・住吉) Fr.英 隆一朗は主任(六甲) Fr.中村健三は助任(六甲) Fr.増井啓は協力(六甲)		かわちB	Fr.上田 憲は主任(布施・枚岡)、Fr.崔周永は主任(八尾)
阪神地区	阪神夙川B	Fr.川邨裕明は主任(芦屋) Fr.李昇倫は主任(夙川) Fr.アマド・カバレロⅢは主任(甲子園)	岸和田地区	みなとB	Fr.松浦 謙は主任 Sr.戸村晴美は協力(住之江・なみはや)
	阪神仁川B	Fr.グエン・シン・サクは主任(宝塚) Fr.和越 敏は主任(仁川) Fr.ヒラン・インディカ・ジャヤワルデナは主任(伊丹)		玉造B	Fr.ヌノ・リマは主任、Fr.セサル・ポルメントは助任、Sr.梶野芳子は協力(玉造) Fr.ティアゴ・ダ・コンセイサオ・エステヴァオ・トマスは日本語研修 Fr.ホセ・ラモン・ルビオ・モルデンハウエルは日本語研修 Fr.申城吉は主任(大阪生野)
	阪神尼崎B	Fr.エマニュエル・ポポンは主任(武庫之荘) Fr.山口武史は主任(園田) Fr.ジョヴァンニ・デリアは主任(尼崎)		紀泉B	Fr.イポリト・ヴィダは主任(岬・泉南・紀の川)
北摂地区	北摂西B	Fr.中村克徳は主任(池田) Fr.島基幸は主任(日生中央) Fr.野田正弘は主任(豊中) Fr.矢野吉久は主任(箕面)	和歌山地区	いずみB	Fr.村田稔、Fr.ロムアルドウス・ジュアンは共同(岸和田・浜寺・和泉) Fr.ロペス・オロスコ・フェリペ・デ・ヘスは協力
	北摂東B	Fr.清川泰司は主任(高槻・茨木) Sr.橋本とも子(高槻)、Sr.深瀬聖子(茨木)は協力 Fr.香山 剛は主任(千里NT) Fr.井田 明は主任、下瀬智久は助任(吹田)		りんくうB	Fr.フラビオ・ベスコは主任(泉佐野) Fr.デンニ・ワユディは主任(貝塚・熊取)
その他			紀北B	Fr.ヘスス・マリア・モラレス、Fr.グエン・クオク・トゥアンは共同(和歌山紀北)	
			紀南B	Fr.石井望は主任(紀伊田辺・御坊・龍神) Fr.ヨゼフ・プロデリックは主任(新宮・串本)	
			その他	Fr.パオロ・スックは大司教秘書および教区協力 Fr.朴起徳は日本語研修(司教館)	

泉北教会創立50周年

記念ミサ



5月28日、酒井俊弘補佐司教司式で泉北教会創立50周年記念ミサが行われ、約90人の信徒とともに祈りをささげた。

泉北教会は、アシジの聖フランシスコを守護聖人として1973年初代主任司祭ゲーセンス神父(淳心会)により創立され、87年に現在の地に移転して、開かれた教会として歩み続けている。

福音の説教で酒井司教は思いを込めて次のように話された「朗読聖書の中に、『いろいろ』という言葉が3回出てきました。賜物も、務めも、働きも、私たちはいろいろです。いろいろな私たちはバラバラになってしまう運命なのでしょうか。いいえ。同じく朗読に「一つ」という言葉が5回出てきました。泉北教会は50年前に11人の信徒から始まった教会です。いまでは、こんなに大勢が一つに集まっています。まかれた種は今後へと続いていくのです。その恵みへの感謝をこのミサでささげましょう。」

ミサ後のパーティでは、司教様との身近な触れ合いを皆、とても喜んでいた。

【主催者の感想】

50年前から現在へと続く泉北教会の歴史を顧みるにふさわしいお説教をいただき感謝しています。神さまからいろいろな賜物をいただいた私たちが、その賜物を互いに活かすことができますように。そして泉北教会にまかれた種が、50年を過ぎた今後もお育てしていきますように。

【参加者の感想】

当日の『聖書と典礼』を引用して50周年のお祝いをしてくださったお説教はたいへん感激しました。コロナが過ぎたことで久しぶりに小さなパーティが行えました。皆さんとおしゃべりする機会が本当に良かった。親睦の大切さを実感。

(文 泉北教会 広報担当)

司祭紹介



2020年、新型コロナウイルス感染症が蔓延して、信徒の方々が教会活動で困難になる中、動画配信により信仰を深める機会を与え続けてきた司祭を紹介します。



できるだけ、芸術的にキリスト教のメッセージと歴史を紹介すると同時に、不安を持つ人びとに慰めと希望を伝えるのが目的です。

グイノ・ジェラルド神父(洲本教会)

チャンネル登録者数 689人 730本の動画



▶ QRコードを読み取って視聴できます



【主な動画配信内容】

- ◆毎日曜日の説教
◆毎月 福音宣教のパネル ... カトリック教会の歴史や建物や典礼のために使う道具について
◆毎月 福音宣教の窓 ... 聖書が与える光で日本の国の出来事、活動や季節に基づいての楽しい発見。外窓も、パネルも、洲本の道を歩く人びとはよく見えています、動画はこれを詳しく、楽しく、音楽を含めて説明をします。
◆大阪教区の教会の紹介 ... (時どき)
◆教会の典礼とイベント、日本の伝統、手品、料理のレシピなどなどです



ラジオ

信仰の時間

5月担当: ヨハン・クワン神父(八尾教会)

サイダーは私の恩人のような飲み物だ (5月21日放送分より)

サイダーは私の恩人のような飲み物だ。20年前に大腸がんにかかり、大腸を30cmほど切ってもらった外科手術の後、半年間にわたって抗がん剤の治療を受けていた。集中治療室で、一週間入院して、毎日抗がん剤を打ってもらった。黒い、分厚いビニール袋で遮光された抗がん剤が、徐々に血管を通して体に入ってくる。全部で6回、計算すると36瓶の抗がん剤が体内に入っていたわけだ。容量も人一倍で、看護師さんに聞いてみたら、「十分打っていますよ」との返事で、何のための十分ですか、とは聞けなかったが、癌細胞の増殖や転移を防ぐための「十分」だったことは明らか。最初の一週間が終わるまでは体の反応は別になかった。

しかし、1カ月後に2回目の治

療が始まると、体は口から入る一切の物を拒否してきた。入ってきた食べ物を容赦なく吐き出してしまふ。普通の食べ物は、柔らかいスープも、最後はもちろん水も受け付けてくれない。闘病生活は体力勝負のわけだが、食べなかったら、ほぼ毒物に近い抗がん剤を受け入れる体力作りはそもそもできっこない。どうしようと病室を出たら廊下の自販機に気づいた。サイダーを買って飲んだ。凄く美味しかった。体の細胞の隅々に糖分が行き渡っていくのを感じた。全く食べ物を拒否していた体が、白い、透明なサイダーだけ受け入れてくれたのだ。パターンと落ちてくるサイダーを毎日一ぱい飲んでいったかな。

その後、続いて3回目の治療が終りかけた頃から、髪の毛が抜け

始めた。なるほど。私も例外なくこうなるのだと分かった。そもそも髪の毛が多い方なので、禿げたようにはならなかったが、4分の1ほど抜けていった。当時、実家(韓国)の大邱からソウルの病院まで通いながら集中治療を受けていたので、ボロボロの状態を実家に帰っては寝る、何とか食べる。そして、1カ月後、またバスで独りソウルに向かう。

6回目の最終日を今も覚えている。当時、まだ修道士だったので、そのカトリック系病院で働いていたシスターたちに、たいへんお世話になっていて、シスターが写真を撮ってくれた。白髪が増え、髪の毛は薄くなり、体重が減り、病者なのだとはよく分かる様子で、私はたいへん嬉しく笑っていた。抗がん剤治療が無事に終わったという喜びの笑顔だったのだ。

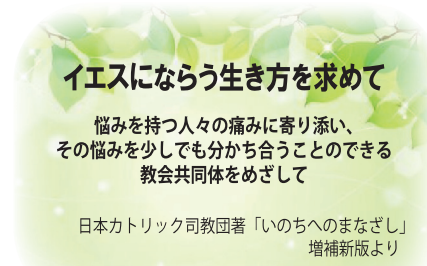
理論的に、今の私の体は、砂糖と化学物質でできたサイダーを受け付けてくれるはずがない。なぜなら、あらゆる食品添加物にアレルギー反応を起こしているから。

しかし、たまには、むしろ、サイダーが飲みたくなる日がある。

この前の主日、小教区でごミサを終えて、昼食を取らず、雨に濡れながら自転車のペダルを漕ぎ、汗びしょびしょで玉造に着き、自転車に雑巾を掛けてから、食事を済まし、シャワーを浴びた。しかし、まだ休めない。午後5時の韓国語のごミサ司式! ミサ中、疲れを感じながらも、なぜか時々微笑んでしまう。暑かった一日、サイダーが思い出されて、ごミサが終わったらコンビニエンスストアで買い物をして、一杯飲みたくなったのだ。この前の復活祭、小教区では幼児洗礼と初聖体が行われたが、初聖体を受けた子どもたちの父兄たちからいっぱいプレゼントされた。美味しい果物と、何とサイダー1箱をいただいた。



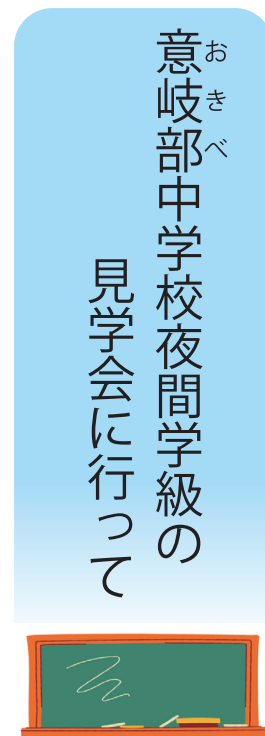
毎週日曜日 5:50 ~ 6:00AM 放送
7月担当: ジョヴァンニ・デリア神父
ABC ラジオ (朝日放送) AM1008/ FM93.3
スマホアプリの radiko でも聴けます。



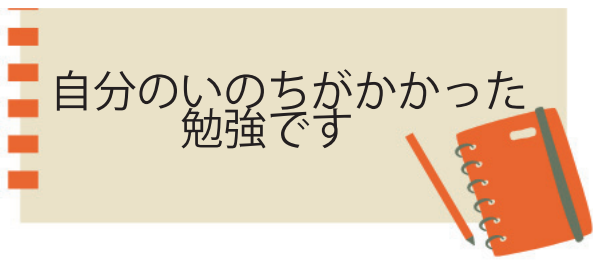
「外国人住民基本法・人種差別撤廃基本法」の制定に取り組み、外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会(関西外キ連)は、長年、外国人の人権を守る取り組みに携わってきた。この活動の一環として、今年の1月24日、日本に住む外国人住民の実態を学ぶための現地学習会が行われた。

この学習会の目的は、大阪市の意岐部中学校夜間学級を訪問見学し、学んでいる外国人たちの生の声を聴くというもの。プロテスタント教派から4名、カトリックからは社会福音化部門担当のデンニ神父、エリック神父とともに参加した。

意岐部中学校夜間学級は、2019年に発足。現在77名の生徒が学ぶ。年齢は10代から70代と幅広い。授業料は無償。日本語の能力に応じて4つのクラスに分かれる。平日午後5時15分から8時50分まで4時間の授業が行われている。生徒たちは昼間は仕事や家事に従事している。教科は表現(国語)、数学、社会、理科、音楽など通常の義務教育における中学校レベルの教科に準ずる。試験をして成績をつけたりすることはないが修了証は得られる。



タイ、パキスタン出身であった。見学当日は30名ほどの生徒が来校してきた。見学者たちは2時限目の各教室での授業を参観した。鉛筆



とノートをもって教科書を読みながら熱心に学ぶ姿が見られた。

3時限目には生徒との意見交換会が行われた。生徒たちからは「こうして勉強が出来ることに希望が持て

る」と感謝する声がかかれた。かつての中国残留孤児で日本に帰国したが、教育を受ける機会がなかったという高齢女性もいた。孫ともっと日本語で話し合えるようになりたいという。「自分のいのちがかかった勉強です」という人もいて、ここに通いながら日本で生きていくための必要な知識を得ることの苦労がうかがえる。ただ、日本に来て種々の差別や嫌がらせを受けたことも事実だ。「外国人だからということだけで雇ってくれなかった」「そばに座らず避ける者がいる」などの率直な声も聞かれた。

見学を終えたエリック神父は、自らも留学生として来日し、苦勞して日本語とその文化を勉強した経験がある。夜間中学を支えてくれる教師やスタッフに心から感謝したいと感想を語った。このような取り組みが全国レベルで広がっていくことが望まれる。



夜間中学 ～学びのセーフティーネット



“わたしも頑張れば夢を実現できる”

夜間中学の始まりは、戦後の混乱期にあって昼間に中学校に通えなかった子どもたちが、夜に学ぶために作られた公立中学の「夜間学級」である。戦争、貧困、病気、不登校など、様々な理由で、義務教育を終えられなかった人たちの「学び直し」の場として2016年「教育機会確保法」によって制度化された。国際人権規約に「すべての者に教育機会を与えること」が定められている。これらを踏まえ、外国人の子も日本人児童と同様に夜間中学に無償で受け入れるようになったのだ。

調査によると、夜間中学は現在全国に36校あるが大阪府には11校が設置されており全国でトップである。6年前の実態調査では全国で約1700人が学んでいる。このうち約8割が外国籍の生徒という。2015年の統計では中国人が797人、韓国人が284人、ベトナム人101人。しかし、小中学校に通う年齢なのに、どこにも就学していない可能性がある外国籍の子は約8000人いるとされる。

入学条件は15歳以上で、中学校を卒業していない人や、ほとんど通ったことのない人が、勉強したい気持ちさえあれば年齢や国籍を問わず誰でも入れる。授業料や教科書代は不要。授業は週5日、内容は中学校で学習する教科を勉強する。修学旅行、学習発表会、運動会などの学校行事もある。全過程を修了すると中学校卒業資格を得られる。勉強についていけないか不安がある人のために習熟度別のクラス編成もなされる。

夜間中学は、外国人にとって、いわゆる「日本語学校」ではない。さまざまな教科学習を通して、日本社会や日本との接点を作り、日本人との関係性を作れるようになることが目的である。長年夜間中学につとめた講師の方はこう述べる。「生徒たちにとってここは日ごろ日本社会で感じる疎外感、孤独感から解放される大切な居場所、自分たちに希望を持たせてくれる所です。彼らが夜間中学で学びたい最大の理由は、皆、日本語が分かるようになりたいためと答えるが、ここでの学びを経て“わたしも頑張れば夢を実現できる”と、より勇気をもつようになります。また『表現』『民族』『文化』の授業で自分たちのルーツを大切にする意識が高まり、自分に対する誇りと自信を持つようになります」。

わたしたちキリスト信者は、イエスの福音に基づいて「国籍を越えた神の国」の実現を目指している。それは神の子であるすべての人が、ひとしく大切にされ、よろこびと幸福感をもって生きることの出来る世界に他ならない。夜間中学はまさにそれにつながる意義深い取り組みである。



意見交換会で感謝の言葉を述べるネパール人の生徒

夜の中学生募集！
いっしょに勉強しませんか
●「あいうえお」から学べます
●国籍に関係なく学べます
●10代から90代までの人が学んでいます
●授業は平日の夕方5時頃から夜9時頃まで
●遠足や運動会などの楽しい行事もあります
★詳しくは学校か、夜間学級を設置している市教育委員会へお電話でお問い合わせください
大阪府の地図
大阪府 大阪府教育庁市町村教育室小中課

夜の中学生募集ポスター(大阪府HPより)



聞かせてください 神さまと出会った時のこと

〜エマオへの道で〜 第4回 フラビオ・ベスコ神父 (聖ザベリオ宣教会・泉佐野教会)

イタリア、ヴィチエンツアの生まれ。神様がいて、家族がいて、私がいる。周りの誰もがカトリック信者で毎週ミサに行く、そんな環境で育った人は、生まれたときから神様に会っていると言うしかない。イエス様の話を最初、母の膝の上でした。

「召命」という意味でも、特別なことはなかった。小学5年の時、一人のザベリオ会宣教師が、私の教会で遠い国の話をしてくれました。インター

ネットもない時代、宣教師の話は大変人気があった。そこで配られた子ども向け雑誌のアンケートに答えると、しばらくして、優しいようなザベリオ会の人、山へキャンプに行かないかと家までやって来た。ベタバタする海には行きたくなかった

の導きか、私のずい計画のせいかわからないが、キャンプから帰ると、また宣教師が来て、わけのわからないうちに小学校に入ることに。大神

学校の進み、カリキュラムどおりに進み、24歳で司祭となった。ザベリオ会との出会いを通して、私は宣教師になった。私からはなく、ザベリオ会が私を探した。自分の使命ではなく、ザベリオ会の使命が、私がその使命に与っている。ザベリオ会は第二の家族、アイデンティティの一部です。

聖書の中にも、神様との出会いがあった。大神学校での聖書の勉強は、まるで新しい出会いのようでした。特に旧約聖書とパウロの手紙。これは人生の光になるのではないか、皆にも伝えなければ

ばという気持ちがそこから始まった。私の好きな聖書の話はエマオです。エマオへの道を歩く二人は、イエス様と出会っていたが、それがイエスとわからなかった。私たちは気づいていないが、いつもイエス様はそばにおられる。そして、一緒に歩くなかに、聖書の言葉があり、イエス様がすべて説明された。その話を聞きながら、「心は燃えていたのではないか」と目が開くのです。キリストとの出会いを実現するには、まずは聖書を通して、そしてパンを割いて、最後の晩餐を記念する一つまり、ミサの秘跡に与ることです。二人はその体験を通して、イエス様はずっと私たち

の中に一緒にいて、同じ家族にしてください。夜にも関わらず、共同体のもとに走っていくのです。キリストの命を受けて、体を受けて、キリストと一つになり、一つの家族となるという意識があれば、私たちも神様との出会いが可能でしょう。特別なことはいらぬ、ルカは私たちのために書いてくださったのでは。私の神様との出会いに、特別なことは何もなく、地味な話しかありませんが、キリストと一緒にいるということがまさに奇跡。私の人生の光なので

「カテキズムの学び」

第43回 洗礼の秘跡(後半)

*クラスは右のQRコードから



洗礼の秘跡の教えには、一見矛盾した二つの立場があります。「洗礼は救いのために必要である」と「洗礼を受けていなくても救われ得る」です。

洗礼が救いに必要なことは、主ご自身が断言しておられます。「だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない」(ヨハネ3・5)。……教会は永遠の幸福の保証を与えるための、洗礼以外の手段を知りません。(1257番)

受洗者が人口の1%にも満たない日本では、信者の家族の中にも洗礼を受けていない人は珍しくありません。洗礼を受けずに亡くなった親や、洗礼を受けていない子どもや孫は救われるのかという疑問は切実です。カテキズムは「洗礼を受けていなくても救われ得る」ことをこう述べています。

キリストはすべての人のために死なれたのであり、……聖霊は神のみが知っておられる方法によって、すべての人に過越の神秘にあずかる可能性を提供されることをわたしたちは信じなければなりません。(1260番)

このことは、洗礼の必要性和矛盾しないのでしょうか？ その点はこう述べられています。

神は救いを洗礼の秘跡に結びつけられましたが、神ご自身は秘跡に拘束されることはありません。(1257番)

キリストとその教会とを知らずに真理を求め、自分の知るところに従って神のみ旨を行うすべての人は救われうのです。このような人々は、洗礼の必要性を知っていたなら、洗礼を受けたいという望みを表明したに違いないと考えられるからです。(1260番)

洗礼を受けていなくても、正しく生きた人を神様は救ってくださるので。だからといって洗礼を受けなくてもよいわけではありません。たとえるなら、救いに達するために神様が準備して下さった冷暖房完備の快適な列車に乗らずに、歩いていくようなものです。

「百倍もの報いを受け、永遠の命を受け継ぐ」(マタイ19・29)ための確かな手段として洗礼があることを、周囲に宣べ伝えていきましょう。

(文 酒井俊弘補佐司教)

訃報



アンドレ・ゲイ神父(イエスの小さい兄弟会)は、2023年4月9日、帰天。94歳。フランス出身。

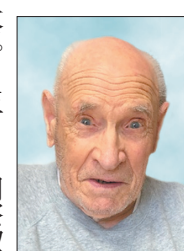
1948年、イエスの小さい兄弟会に入会。50年に初誓願。56年来日。川崎市(桜本町)に「兄弟の家」開設。61年6月司祭叙階。川崎市(戸手町)に「兄弟の家」開設。80年ごろ、福井県敦賀市に移住。2010年、和歌山県に移住。23年4月3日肺炎のため生協有本病院で療養。

4月のお話より抜粋。サクラファミリアで偶数月に開催中

「兄弟の家」開設初期の兄弟として「祈りたい、働きたい」ただそれだけの思いで社会生活の中で、特に、小さい人、見捨てられた人、みんなに顧みられない人、そういう人たちに寄りそって祈り続け、共にあろうとした。さまざまな食材を併せてユニークな料理を創作し、皆にふるまい驚かせた。

友人のジャック・マリタン(哲学者)が来日の際には、労働者と飲み、語り合い親交を深めた。

◆ レナート関亮一神父(淳心会)は、2023年5月31日、仁豊野ヴィラで老衰のため帰天98歳。ベルギー出身。1945年、淳心会に



入会。51年9月司祭叙階。同年10月来日。日本語勉強後、52年58年相生教会で司牧。58年61年笠岡教会(岡山県)で司牧。61年2015年倉吉教会の主任司祭を務め、61年2022年倉吉幼稚園長を兼任した。

被差別部落民の解放を目指し、その運動に積極的に取り組んでいた。また子どもたちの教育に力を入れ、幼稚園に限らず、小中学校にも赴き、非差別問題を提起し、演じていた。

「生きる」―難民移住者

人権に優る国益とは何ですか

6月8日、出入国管理及び難民認定法(入管法)の改定案が参議院法務委員会で行方採決されました。与野党の議員が激しくもみ合う中、強行採決される有様を私たちは難民の仲間たちと一緒に見ました。目を見開き手で口を覆う人、「収容所で難民の死者が増えるよ」と叫ぶ人、事務所には重苦しい空気が漂いました。入管法の議論は、日本人には馴染みのない法律のせい、世論の大きな関心事にはなりません。実態をよく知らない多くの市民は「難民制度を濫用

して送還忌避する犯罪者」とのイメージを抱き、治安を守るための法改定だと捉えていたと思います。一方、難民当事者にとつては自分の生命に関わる問題ですから、恐怖に近い感覚で法案の行方を追っていました。だが、立場が弱く声をあげられませんか。ですから私は当事者を知る者の責務として、どこかで学習



国会議員に思いを伝える仮放免の子どものたち

ある大学に呼ばれたとき、私は「国益なくして人権なし」と発言した国会議員の話をしました。すると一人の学生が「人権に優る国益って何ですか」と尋ねました。若者の率直な問いは、真をついています。その究極の答えは戦争でしょう。「人

権とは何か」を問う哲学のない社会の行きつく先の恐ろしさを感じました。それでも国会審議が進められるにつれ「難民を守る」と危機感を持つ人が全国で増えてゆきました。国会議員に抗議のファックスを送る人、駅前立って声を挙げる人、東京では廃案を求めるデモに7千人もの人が参加したそうです。法案が可決された夜、強制送還の対象である当事者家族のお母さんからメールが届きました。「確かに大変な事態になりましたが、諦めることはありません。信仰と道は必ずあります。信仰と希望は楽観主義を生みます。篤子さん、また明日！」(文 シナピス事務局)

ピスカルド篤子

大阪大司教区 2022年度 教区本部会計収支計算書

[収入の部]

単位:円 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

科 目	教区本部会計	(%)	一粒会会計	(%)
經常収入の部	830,754,583	23.0	35,619,683	27.4
納付金収入	289,612,095	8.0	0	0.0
教区納付金(A)	32,470,000		0	
教区納付金(B)	216,595,200		0	
教区納付金(C)	21,449,094		0	
教区納付金(D)	19,097,801		0	
小教区分担金	223,620,611	6.2	0	0.0
小教区分担金(建設費用教区立替分)	223,620,611		0	
特定献金収入	28,145,749	0.8	0	0.0
世界こども助け合いの日献金	4,845,285		0	
聖地のための献金	1,305,902		0	
四旬節愛の献金	6,303,668		0	
世界広報の日献金	1,726,763		0	
聖ペトロ使徒座への献金	2,029,754		0	
世界難民移住移動者の日献金	2,005,022		0	
世界宣教の日献金	1,923,893		0	
宣教地召命促進の日献金	1,996,802		0	
新教会建設の日献金	1,937,710		0	
カンボジア教会の日献金	1,579,688		0	
すべてのいのちを守る献金	2,491,262		0	
一粒会献金収入	0	0.0	35,612,140	27.4
一粒会献金	0		35,612,140	
特別献金収入	70,637,269	2.0	0	0.0
祭特別献金	1,193,000		0	
特別献金	62,284,729		0	
一般特別献金	2,358,938		0	
一般献金	4,800,602		0	
諸委員会活動費	45,140,450	1.2	0	0.0
教区宣教司牧評議会運営委員会	0		0	
広報委員会	5,753,521		0	
典礼委員会	0		0	
列聖推進委員会	28,995		0	
使徒職養成委員会	0		0	
教育推進委員会	240,000		0	
諸宗教対話委員会	0		0	
青少年司牧委員会	35,000		0	
シナゴガ	21,112,621		0	
社会活動神戸センター	4,047,360		0	
社会福音化推進委員会	0		0	
災害対策委員会	0		0	
障がい者委員会	0		0	
SH対応委員会	0		0	
サクラファミリア	1,157,906		0	
高砂働く人の家	221,950		0	
大阪管区部落差別人権活動センター	1,601,704		0	
望洋庵	9,035,184		0	
他委員会活動費	0		0	
エキュメニズム委員会	0		0	
国内移動者委員会	0		0	
新福音化委員会	0		0	
大船渡ベ	1,906,209		0	
納骨堂等収入	27,232,790	0.8	0	0.0
非課税永代使用料収入	11,757,000		0	
課税永代使用料収入	10,411,500		0	
管理料収入	5,064,290		0	
その他納骨堂収入	0		0	
雑収入	145,247,284	4.0	3,300	0.0
課税雑収入	589,209		0	
非課税雑収入	144,658,075		3,300	
事業収入	1,118,335	0.0	4,243	0.0
受取利息配当金	1,118,335		4,243	
施設利用料	0		0	
財務収入の部	1,986,159,421	54.9	10,631,759	8.2
固定資産収入	81,849,488	2.3	3,320,746	2.6
保証金償還収入	0		0	
器具備品売却収入	0		0	
車両売却収入	0		0	
奨学金返還収入	0		0	
特別目的預金取崩収入	81,849,488		3,320,746	
預託金収入	0		0	
その他の財務収入	279,983,473	7.7	2,068,760	1.6
未収入金収入	4,600,139		1,758,260	
立替金回収収入	70,811,710		0	
損害保険料立替回収収入	0		0	
立替消費税回収収入	3,049,000		0	
仮払金回収収入	72,158,486		0	
預り金収入	125,321,417		0	
小教区預り金収入	0		0	
短期貸付金回収収入	0		0	
仮受金収入	4,507,871		310,500	
前受金収入	-465,150		0	
内部取引勘定収入	1,748,191,563	48.3	6,207,909	4.8
一粒会勘定収入	6,100,409		0	
仁豊野ヴィラ勘定収入	57,283,715		0	
教区本部勘定収入	0		6,207,909	
事業部本部勘定収入	32,705,794		0	
基金本部勘定収入	1,652,101,645		0	
資金調整勘定	-123,865,103	-3.4	-965,656	-0.7
前期末前受金(-)	0		0	
期末未収入(-)	-123,865,103		-965,656	
収入計	2,816,914,004	77.9	46,251,442	35.5
前期繰越金	800,938,272	22.1	83,879,495	64.5
収入の部合計	3,617,852,276	100.0	130,130,937	100.0

[支出の部]

科 目	教区本部会計	(%)	一粒会会計	(%)
經常支出の部	818,942,807	22.6	24,915,801	19.1
祭儀費	3,132,398	0.1	0	0.0
祭儀	3,132,398		0	
諸委員会活動費	59,085,855	1.6	0	0.0
教区宣教司牧評議会運営委員会	48,654		0	
広報委員会	5,926,831		0	
典礼委員会	156,430		0	
列聖推進委員会	355,086		0	
使徒職養成委員会	105,972		0	
教育推進委員会	332,206		0	
諸宗教対話委員会	255,103		0	
青少年司牧委員会	139,646		0	
シナゴガ	21,323,117		0	

科 目	教区本部会計	(%)	一粒会会計	(%)
社会活動神戸センター	3,940,587		0	
社会福音化推進委員会	232,402		0	
災害対策委員会	45,842		0	
障がい者委員会	80,376		0	
SH対応委員会	51,433		0	
サクラファミリア	741,564		0	
高砂働く人の家	623,387		0	
大阪管区部落差別人権活動センター	2,740,028		0	
望洋庵	8,850,668		0	
他委員会活動費	0		0	
エキュメニズム委員会	100,734		0	
国内移動者委員会	0		0	
新福音化委員会	0		0	
大船渡ベ	13,035,789		0	
宣教活動費	11,593,428	0.3	0	0.0
中央協議会分担金	3,050,000		0	
広報活動費	46,300		0	
教区行事費	3,473,979		0	
研修費	2,251,289		0	
調査研究費	0		0	
資料図書費	2,681,360		0	
行政費	0		0	
諸国会	90,500		0	
助成金支出	277,204,345	7.7	0	0.0
小教区助成金	199,694,645		0	
修道会助成金	77,509,700		0	
援助事業費	37,711,433	1.0	0	0.0
大阪教区援助事業費	18,062,041		0	
教皇庁援助事業費	8,705,943		0	
教皇庁援助事業費	3,509,651		0	
中央協議会援助事業費	7,433,798		0	
人件費小教区	154,720,833	4.3	0	0.0
本俸・諸手当	138,795,315		0	
通勤手当	0		0	
法定福利費	15,925,518		0	
退職共済掛金	0		0	
退職	0		0	
人件費教区事務局等	158,153,261	4.4	0	0.0
本俸・諸手当	123,107,561		0	
通勤手当	3,257,019		0	
法定福利費	19,071,094		0	
退職共済掛金	1,790,000		0	
退職	10,927,587		0	
雑給	0		0	
養成費	0	0.0	24,671,544	19.0
祭儀費	0		0	
教外研修費	0		2,543,708	
海外研修費	0		0	
運営分事費	0		13,260,000	
召命促進費	0		0	
旅費	0		0	
養成費	0		795,036	
援助	0		8,072,800	
宣教司牧費	2,367,913	0.1	0	0.0
資料図書費	112,177		0	
会議費	2,233,936		0	
諸国会費	21,800		0	
運営管理費	114,875,228	3.2	244,257	0.2
福利厚生費	38,438,067		0	
事務印刷費	3,156,877		0	
消耗品	9,608,079		0	
通信費	3,278,171		4,630	
旅費	5,151,328		67,600	
旅費	4,409,063		0	
自動車諸費	2,881,108		0	
水道光熱費	9,690,956		0	
接待交際費	0		0	
待守交際費	298,030		0	
修繕費	15,337,854		0	
公租公課	2,293,194		0	
損害保険料	1,659,460		0	
支払手数料	5,689,510		0	
賃借料	684,987		172,027	
賃借料	7,919,615		0	
雑報	247,216		0	
報酬手数料	4,131,713		0	
雑損失	98,113	0.0	0	0.0
課税雑損失	0		0	
非課税雑損失	98,113		0	
財務支出の部	1,995,546,710	55.2	6,813,619	5.2
固定資産支出	16,927,536	0.5	0	0.0
建物附属設備購入支出	5,651,250		0	
構築物購入支出	0		0	
祭儀備品購入支出	733,280		0	
器具備品購入支出	5,298,042		0	
車両購入支出	641,900		0	
ソフトウェア購入支出	13,750,000		0	
建設仮勘定支出	-112,767,050		0	
預託金差支支出	8,400		0	
保証金差支支出	420,000		0	
電話加入権取得支出	0		0	
奨学金支払支出	0		0	
特別目的預金積立支出	103,191,714		0	
その他の財務支出	302,296,766	8.4	713,210	0.5
立替金支支出	70,729,712		0	
損害保険料立替支出	0		0	
立替消費税支支出	3,972,400		0	
仮払金支支出	54,914,466		0	
前払金支支出	0		0	
未払金支支出	40,443,400		0	
仮受金返支支出	4,661,062		713,210	
預り金支支出	127,575,726		0	
小教区預り金返還支出	0		0	
内部取引勘定支出	1,680,684,408	46.5	6,100,409	4.7
一粒会勘定支出	6,207,909		0	
仁豊野ヴィラ勘定支出	57,283,715		0	
教区本部勘定支出	0		6,100,409	
事業部本部勘定支出	32,705,794		0	
基金本部勘定支出	1,584,486,990		0	
資金調整勘定	-4,362,000	-0.1	0	0.0
前期末前払金	0		0	
期末未払金	-4,362,000		0	
支出計	2,814,489,517	77.8	31,729,420	24.4
次期繰越金	803,362,759	22.2	98,401,517	75.6
支出の部合計	3,617,852,276	100.0	130,130,937	100.0

来、見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

日時 7・8月はお休み
講師 酒井俊弘補佐司教
場所 サクラ ファミリア / YouTube配信あり
問 ☎06-6941-9700
主催 使徒職養成委員会

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で～◆大阪教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく

日時 8/28(月) 18:00～19:30 (夜の部)・8/29(火) 10:30～12:00(昼の部)※両日とも同じ内容となります
おはなし ハルノコ・アントニウス神父(淳心会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆イエスと洗礼者ヨハネ

日時 第2(月) 13:30～15:00 (5～7月開講)
参加費 ¥500

「新生の明日を求めて」読書会◆大阪教区のシノダリティ(ともに歩む)の原点を確認しよう

日時 毎週(月)(第2は休み) 14:00～15:30

聖書通読会◆聖書のダイナミックな流れが感じられます

日時 毎週(木) 10:00～11:30

「YOUCAT(青年向けカテキズム)」勉強会◆老いも若きも、キリスト教を理解しよう

日時 毎週(金) 19:00～20:00

担当 松浦信行神父

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00～19:30

問 サクラ ファミリア
☎06-6225-8871
✉f.sacra@osaka.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会

日時 次回9/3(日)～9/24(日) 4回 14:00～15:30

参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 次回9/3(日)～9/24(日) 4回 14:00～16:00

参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家

◆奉献生活者のための黙想
日時 7/18(火) 17:00～7/25(火) 朝食後
指導 未定
参加費 ¥68,000

◆日帰り黙想会

日時 7/11(火)・7/20(木)・7/28(金) 10:00～15:30
指導 稲葉善章神父(7/11) 染野治雄神父(7/20) 山内十束神父(7/28)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 7/11(火) 17:00～7/12(水) 15:30 7/14(金) 17:00～7/15(土) 15:30
指導 稲葉善章神父(7/11-12) 染野治雄神父(7/14-15)
参加費 ¥9,000

◆聖地エルサレムを学ぶ

日時 第2(木) 10:00～12:00
指導 笹田六合豊修道士
参加費 ¥1,000

◆ギリシャ語で味わう聖書のことば

日時 第1(火) 10:00～12:00
指導 稲葉善章神父
参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水) 10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講座・研修会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 毎月第3(金) 10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
問 岩村 ☎070-5045-7127
主催 神戸国際支縁機構

日本カテキスタ会◆第4回「大阪カテキズムを学ぶ会」第二編「信仰の神秘」

講師 高見三明名誉大司教(長崎教区)
日時 7/6(木) 13:00～16:00
場所 サクラ ファミリア
参加費 1単位 ¥500 (資料代として)
問 日本カテキスタ会事務局 ☎090-3865-8010(栗山) ✉nckkate@gmail.com

兵庫・生と死を考える会 月例会◆赤ちゃんを喪うグリーフ～産産・死産・新生児死～
講師 村上典子(兵庫・生と死を考える会理事・神戸赤十字病院心療内科部長)
日時 7/16(日) 13:30～15:00
場所 六甲教会・イグナチオホール
参加費 一般: ¥700 会員: ¥500 申込み: 不要
主催 兵庫・生と死を考える会
問 ☎078-805-5306

大阪明星学園 創立125周年記念講演◆「義肢制作を通して見つめる いまのルワンダ」
日時 7/10(月) 14:30～16:20
参加方法 学園HPより申込みリモート視聴(無料)
https://www.meisei.ed.jp/
問 ☎06-6761-5606(北川)

集い

シナピス主催◆オンライン祈りの集い～世界平和のために祈ろう～
日時 毎月第2木曜日 20:30から30分
テーマ 船員たちとその家族のために
参加方法 Zoom(100名まで参加可能) Zoomミーティング ID: 761 071 2034 パスワード: 123456
主催 社会活動センター・シナピス
問 ☎06-6942-1784 ☎06-6920-2203
✉sinapis@osaka.catholic.jp
HP https://sinapis.osaka.catholic.jp/

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15～35歳までの若者の集い
日時 第4(土) 14:00～16:00
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)
問 レネ神父・水元 ☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ「エッファタ！」練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフトcaptiOnlineを使いパソコンまたはスマホで練習します。
日時 毎月第2(水) 10:00～12:00
場所 教区本部事務局1階会議室
主催 要約筆記グループ「エッファタ！」
問 障がい者委員会 ✉dis@osaka.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い いつ来てもウエルカム 当日キャンセルOK
日時 毎月第3(日) 14:00～16:00
場所 姫里集会所
参加費 無料 (12月のクリスマス会だけ実費)
申込 吉川まで
問 ☎078-583-2525
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

カ障連大阪フレンドリー ◆点字部の勉強会
対象 パソコン点字に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時 奇数月 第2(火) 13:30～15:00
場所 姫里集会所
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324 ☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

マザー・テレサ共労者の集い
日時 第1(土) 14:00
場所 大阪梅田教会
問 高塚 ☎06-6921-0693

手話に興味をお持ちの方へ◆聞こえない人も聞こえる人もボランティア会の見学にいらしてください
内容 聖書の学び・教区活動の手話通訳者派遣 ※手話講習会ではありません
日時 毎月 第1、3、5(水) 10:00～14:00
場所 姫里集会所
主催 大阪教区聴覚障がい者ボランティア会
問 障がい者委員会 dis@osaka.catholic.jp

案内・報告

2023年度夏 人事異動 および担当司祭の交代

※Bはプロックの略。()内は現任地。
▽レネ・パシト・カンテラリア神父(加古川(姫路東B)主任代行)は姫路西B協力
▽ジャン・カレンガ・カペンデ神父(ローマは、(加古川(姫路東B)主任)
【外国語司祭担当司祭の交代】
▼英語共同体司祭担当司祭
(退任)アルマンド・ロメロ神父(新任)アマド・カバレロ神父
(いずれも7月1日付)

教区本部組織一部変更

▽事務局「管理課」↓「総務課 管理部門」へ。業務内容・電話番号は(旧)管理課と同じ。

7月司教予定

(下記「行事等日程」以外)

- ・7/23 甲子園教会60周年・堅信式(+M)
- ・7/30～8/10 WYDリスボン(+S)
- +M=前田万葉大司教 +S=酒井俊弘補佐司教

行事等日程	
7月	
1	主 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
6	木 [常任司教委員会]
12	水 10時 顧問会 13時半 第199回 司祭評議会
18	火 [臨時司教総会](～21日迄)
23	日 祖父母と高齢者のための世界祈願日
26	水 10時半 教区月修
8月	
6	日 主の姿容 平和旬間(～15日迄) カンボジア教会の日の献金
9	水 教区教員養成会(～10日迄)

編集後記

以前、ブラジルから移住した中学生と出会い、学校でのいじめのこと、相談を受けました。「ブラジルにはいる時、どうしたのかはつきりしなさい」と教えられ、それを日本で行ったこと、はじめを受けたこと、とにかく話を聞いて、一緒にどうしたらよいか話しました。▼文化の違いが豊かさを生み出すより、差別やいじめにつながることに、暗澹たる気持ちになりました。▼外国人技能実習や入管法のニュースに触れるたびに、外国人をうまく利用しようとか、問題を起すなら追い出せといった空気を感ずります。▼外国の人が住みやすい日本であれば、日本人も含めてすべての人が住みやすい国になるはずですが。

(広報委員会 川柳裕明)

かえってきた 青年と子どもの錬成会

一遊ぼう! 話そう! 考えよう!

主催 大阪教区青少年司教委員会

4年ぶりに2泊3日の錬成会を開催します! 3日間たくさん遊んでたくさん考えてとっても楽しい休みの思い出になればと思います。みんなに会えることを、リーダーや神父様たちも楽しみにしています!

2023年 8月11日(金) 14:00(受付13時～) 13日(日) 解散16:00 (玉造教会から送迎バスを希望する場合は10時集合)

開催場所 カトリック淳心の家 兵庫県姫路市仁豊野900

- 参加費 ▶6,000円
- 募集人数 ▶50人
- 対象 ▶小学3年生から中学3年生
- 申し込み ▶右のQRコードよりお申し込みください
- 締切 ▶7月28日まで

※詳細は別紙 申込み案内をご覧ください
お問い合わせ カトリック大阪教区本部事務局 青少年司教委員会 ☎6941-9700 (平日9:00～17:00)